

Ryusokairagi 龍爪梅花皮

岩崎 政雄 陶歴



- 1952年 埼玉県児玉郡生まれ
- 1971年 京都府宇治市炭山工芸村
河島浩三氏に師事
- 1975年 京都府宇治市炭山にて独立
- 1980年 京都府宇治市西笠取に築窯
以後、独自の日常食器の制作に励む
- 1995年 滋賀県大津市木戸に築窯
- 2008年 龍爪梅花皮の作陶を始める
- 2012年 黄檗山萬福寺にて個展
- 2016年 祇園ギャラリー空・鍵屋にて個展
以後、各地で年数回の個展を開催
- 2016年 京都工芸繊維大学 伝統みらい教育研究
センターと共同で龍爪梅花皮の模様の
不思議を科学的に解析を始める
- 2017年 日本機械学会「ワインの涙の秘密」
日本材料学会「梅花皮焼の器に現れる
ワインの涙」研究発表

龍爪梅花皮

数百年の歴史を持つ井戸茶碗の特色の一つと言われている梅花皮（かいらぎ）は高温で焼かれた際、偶然にちぢれが現れます。岩崎政雄は従来の梅花皮を作陶する中で、今までとは異なる力強い梅花皮を生み出しました。

滋賀 湖西は、雨が多く比良山の稜線に降り注ぐ雨と稲妻、天を裂き湖に挑むように突き刺さる光線を目の当りにし、その様にあたかも雨で煙る空を龍の爪で引っ掻いた力強さを感じ、龍爪梅花皮と名付け岩崎独自の手法として現在に至っています。

※電子レンジ・オーブン・食洗器をお使い頂けます。